

# 低山Ⅱ 「鶏鳴山・笹目倉山」山行記録

## 黒羽山の会



本日の縦走路

2月18日(日) 未明に薄っすらと雪の積もった日、二月度の山行が行なわれました。6時野崎集合出発。目的地は日光市文挾の鶏鳴山・笹目倉山の二座です。お天気は心配なく晴れです。途中コンビニにてトイレ休憩し登山口のある長畑集落を目指す。

ゴルフ場の一角に駐車する。身支度後林道を歩く。落合橋を渡り分岐を右に折れスギ林を進むと右手に小さな滝に出会う。さらに沢沿いの道を進み三つの橋を過ぎると鶏鳴山登山口の案内板がある。左手には立派なログハウスが見える。右手に道標があり登山道に入る。登山道は時になだらかに又急登になり樹林帯の中に

続いている。これらを繰り返して大岩に出る。岩場もありロープも張ってある。鶏鳴山の北の肩に出る。このあたりは植林帯で見通しはよくない。幸いに北西の展望は開けていた。少し進むと数個の石祠がある。祭礼の跡と思われる。

繰り返して大岩に出る。岩場もありロープも張ってある。鶏鳴山の北の肩に出る。このあたりは植林帯で見通しはよくない。幸いに北西の展望は開けていた。少し進むと数個の石祠がある。祭礼の跡と思われる。



鶏鳴山山頂直下は急勾配。雪で喘ぐ。



鶏鳴山山頂にて

尾根からは日光連山、前日光、足尾の山々、東に古賀志山、篠井連峰が望める。足元には小来川の集落が点在する。小腹が空いてきて小事飯を頂く。さらに下って登り返すと三等三角点の鶏鳴山に到着。最初の記念撮影。

鶏鳴山は勝道上人が日光開山の際に修行した山でここで悟りを開いたということから悟叡山とも呼ばれている。栃木百名山には、「鶏」の付く山が4つある。「鶏頂山」「鶏岳」「鶏足山」そしてこの「鶏鳴山」である。奇しくも戌年になったにも関わらず今年2つめの「鶏」である。降雪と下りのためアイ



アイゼン装着

お昼となった。めいめい持ち寄りのご馳走を頼張る。しばし無言！頂上はそれなりに広く三等三角点あり。奥の院はステンス張りので大きな銅製の鈴が印象的であった。気合を入れ直し定刻の13時かっきり④P815まで登り返す。14時20分右にトラバースし⑥笹目倉登山口に向かう。いくつもの丘をアップダ



急勾配の先にやっと銀色に輝く社が見えてきた

ゼンとストック付ける。少し寒いが尾根風が身体に心地よく感じられた。笹目倉山への縦走に入る。P947辺りにて休憩をとりP815に到着11時10分。コースタイムより約一時間の遅れとなった。さらに笹目倉山を目指しアップダウンを繰り返し12時30分到着。待ちに待った



本日2座目の笹目倉山

ウンし15時20分登山口到着。林道志路手線を横になったり縦になったり想い想いの話に耽る。駐車していた長畑に戻り帰路に着く。今回の山行はお勧めの時期には早く山での楽しみ（三要素（天気・景色・お花）の花には出会うことが出来なかった。立春はとうに過ぎても山の春は名のみでした。無事に行って来られたことに感謝・感謝。ドライバーの伊藤さん・海津さんいつもいつもお世話様です。皆様にもお礼申します。有難う御座いました。

（大野 ミエ 記）



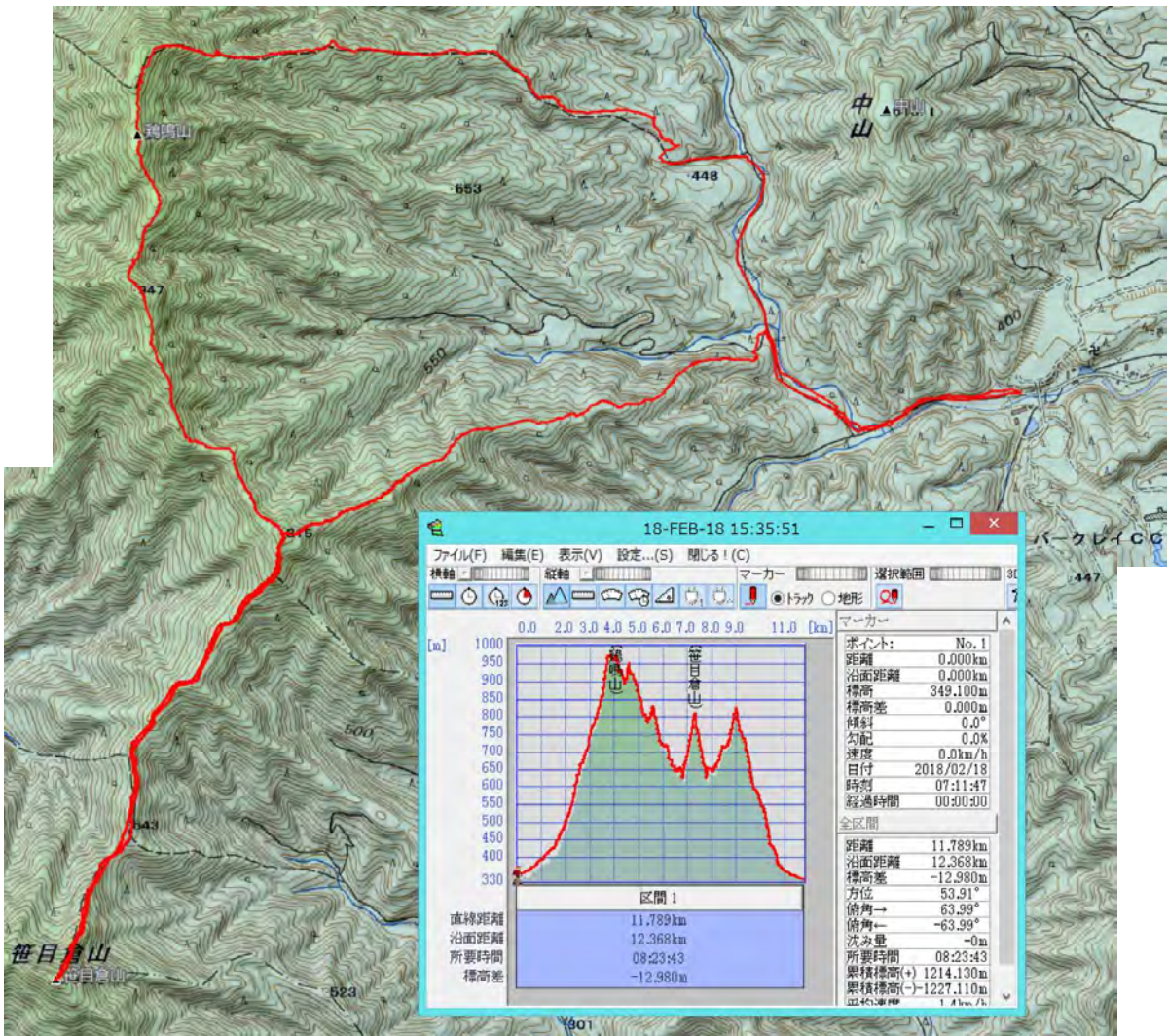
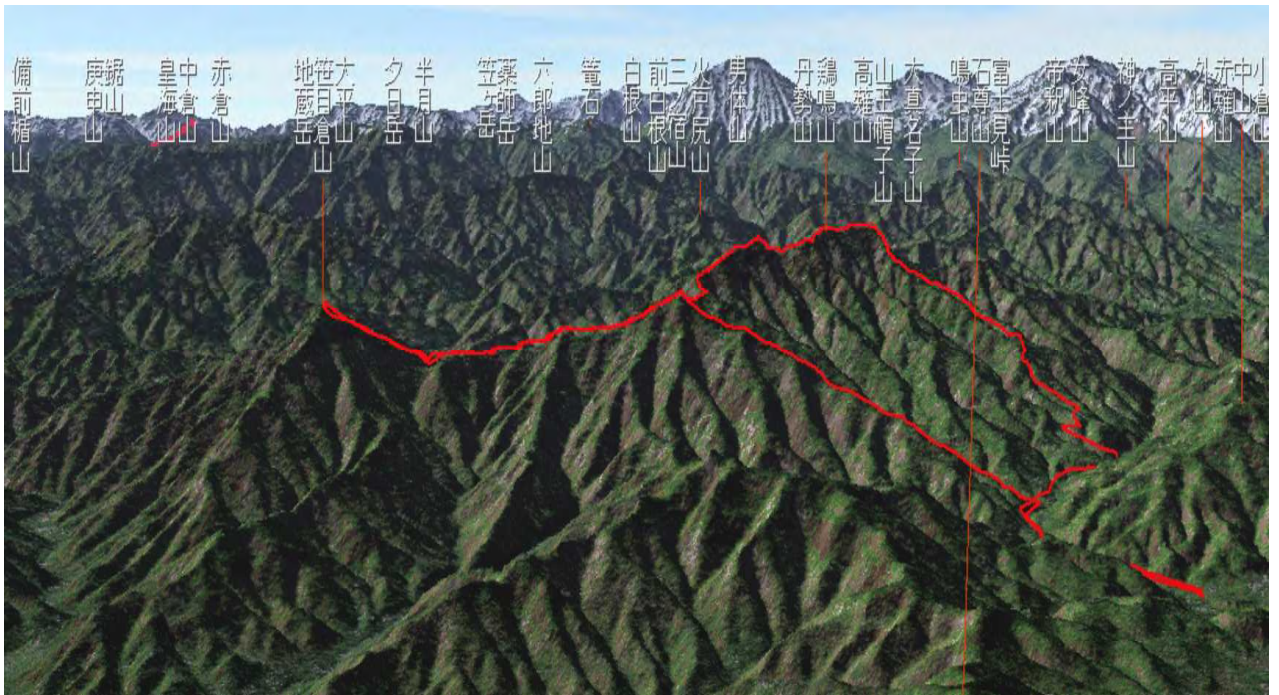
無事登山口に戻ってきました



P815からは快調な下りでした

- と き 平成30年2月18日(日)
- ところ 日光 鶏鳴山(△) 961・0m、笹目倉山 800・0m
- てんき 晴れ
- おあし 1,000円
- あし 伊藤車 海津車
- 参加者及び役割分担  
(CL)伊藤文、(SL)海津、(記録・報告)大野、(撮影)薄井、(会計)大金、  
藤田、斎藤、伊藤、鐘ヶ江
- コースタイム  
野崎=①長畑P—②鶏鳴山登山口—③鶏鳴山—④P815—  
6:00 7:10~15 7:40~45 9:45~50 11:10  
⑤笹目倉山(昼食)—④P815—⑥笹目倉山登山口—①長畑P—野崎  
12:30~13:00 14:20 15:20 15:30~40 16:55





カシミール3Dにて作成